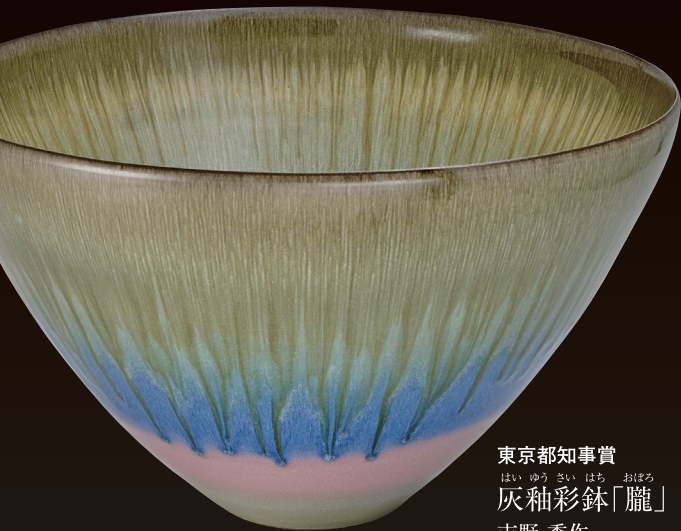


The 73rd JAPAN TRADITIONAL Kōgei EXHIBITION

伝統はつねに
現在する
300余点の
スケールで一堂に



東京都知事賞

はい ゆう さい はち おぼろ
灰釉彩鉢「朧」

市野 秀作

丹波の里山の朝霧に霞む幻想的な夜明けの情景を、陶芸ならではの表現である釉薬の流れで表現しました。

文部科学大臣賞

うき おり き ぎぬ き もの き さめ
浮織生絹着物「樹雨」

宮入 映

厳粛で生命感に満ちた深い森に流れる霧が、樹木にとらえられて雨のように降る「樹雨」。一条の光とともに、表現したいと願っていた故郷の懐かしい情景です。



第73回

日本伝統 工芸展

京都展

2026.10.7^{WED} - 10.12^{MON & holiday}



京都高島屋S.C.(百貨店)7階 グランドホール

ご入場時間＝午前10時30分～午後6時30分(午後7時閉場) 入場料〈税込〉＝ 一般500円(300円)／大学生以下無料

※最終日10月12日(月・祝)は午後4時30分まで(午後5時閉場) ※()内は前売りの割引料金。前売券は、セブンチケット(セブンコード:117-333)、ローソンチケット(Lコード:56075)にて9月9日(水)から10月6日(火)までお求めいただけます。
※当催については、「障がい者手帳・デジタル障がい者手帳」をご提示いただいたご本人様、ならびに、ご同伴者1名様まで入場無料とさせていただきます。 ※安全のため、小学生以下のおこさまは必ず保護者の方ご同伴でご入場ください。
※都合により、催し内容・会期などが変更または中止になる場合がございます。最新の情報は日本工芸会近畿支部のホームページをご覧ください。

主催＝京都府教育委員会、京都市、NHK京都放送局、朝日新聞社、日本工芸会 後援＝京都府、京都市教育委員会 協賛＝パナソニック ホールディングス株式会社 特別協力＝日本通運株式会社

列品
解説

10月 7日(水)
10月 8日(木)
10月 9日(金)
10月10日(土)
10月11日(日)

午後2時〈染 織〉森口 邦彦 重要無形文化財保持者
午後2時〈諸工芸〉渡邊 明
午後2時〈人 形〉木村 美智子
午後2時〈金 工〉三好 正豊 重要無形文化財保持者
午後3時〈漆 芸〉三木 表悦
午後2時〈木竹工〉村山 明 重要無形文化財保持者
午後3時〈陶 芸〉神農 巖 重要無形文化財保持者

自作を
語る

特別
展示

10月 9日(金)
10月10日(土)

午前11時30分〈陶 芸〉市野 秀作
午前11時30分〈染 織〉宮入 映

わざを伝える

「小石原焼」福島 善三
重要無形文化財保持者

我が国には、世界に卓絶する工芸の伝統があります。伝統は、生きて流れているもので、永遠にかわらない本質をもちながら、一瞬もとどまることのないのが本来の姿であります。伝統工芸は、単に古いものを模倣し、従来の技法を墨守することではありません。伝統こそ工芸の基礎になるもので、これをしっかりと把握し、父祖から受けついだ優れた技術を一層錬磨するとともに、今日の生活に即した新しいものを築き上げることが、我々に課せられた責務であると信じます。昭和25年、文化財保護法が施行され、歴史上、若しくは芸術上特に価値の高い工芸技術を、国として保護育成することになりました。私どもは、その趣旨にそって、昭和29年以来陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の7部門にわたり、各作家の作品を厳重鑑査し、入選作品によって日本伝統工芸展を開催してきました。

このたび、第73回展を開催し、広く人々の御清鑑を仰ぎ、我が国工芸技術の健全な発展に寄与しようとするものであります。重要無形文化財保持者、受賞作家、近畿在住作家の作品を中心に、入選作品300余点を一堂に展観いたします。



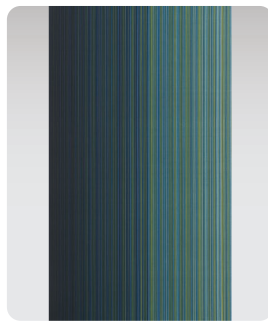
日本工芸会総裁賞
はな かご とう せい
花籃「濤声」
大木 淑恵



高松宮記念賞
あい づ けし ふん まき え うるし ばこ
会津消粉蒔絵漆箱
「谷渡りの風」
須藤 靖典



NHK会長賞
じん だい けやき づくり ふき うるし ばこ
神代櫨造拭漆箱
「生々流転」
林 哲也



朝日新聞社賞
こ ぐら じま も めん おび
小倉縞木綿帯
「アブストラクト 黒蝶」
築城 則子



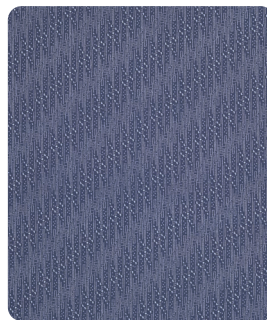
日本工芸会会長賞
ぞう がん か き
象嵌花器
「暮れ色の運河」
村上 浩堂



日本工芸会保持者賞
けやき ふき うるし もり き はん しょう
櫨拭漆盛器「帆翔」
川口 清三



日本工芸会奨励賞
も も た ま な
モモタマナ
中田 博士



日本工芸会奨励賞
え ど こ もん き じゃく
江戸小紋着尺
「Shi to Shi to」
小宮 康義



日本工芸会奨励賞
つい しつ ぞう がん こ とり おき
堆漆象嵌小鳥置
手引手小簞笥
石原 雅員



日本工芸会奨励賞
もく しん とう ぞ ぬの わ し ぱり
木芯桐塑布和紙貼
「リズム」
野田 リツ子



日本工芸会奨励賞
しっ ぽう ふた もの りゅう ひょう
七宝蓋物「流水」
安藤 令子



日本工芸会新人賞
せい ぱく じ ちよう もん か き
青白磁彫文花器
「流景-2026-」
浦郷 壮



日本工芸会新人賞
く る め かすり き もの
久留米絣着物
「皓月の夜」
加藤 伸子



日本工芸会新人賞
び わ けん
びわ研
中村 一姫

お問い合わせ先

日本伝統工芸展京都展 実行委員会事務局
(京都府教育庁指導部文化財保護課)
〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入数ノ内町
TEL. 075-414-5905

公益社団法人 日本工芸会近畿支部
〒604-8183 京都市中京区高倉通三条上る
京都府京都文化博物館内
TEL. 075-252-5205 <https://nihonkogeikaikinki.jp/>

展覧会
情報はこちら



English
information

